

令和5年9月29日

保護者のみなさまへ

河内長野市立加賀田小学校
校長 木村 淳

令和5年度 全国学力・学習状況調査及びすくすくウオッチの結果について

秋冷の候、保護者のみなさま方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育活動の推進にご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査及び4月21日に実施しましたすくすくウオッチの結果について、学力・生活面から分析した学校全体としての概要をまとめました。本日、担任からお子さまには個々の学習状況を示した「個票」を配付しております。ぜひ、ご一読いただき、お子さまの学習の状況、課題などについてご確認ください。しかしながら、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えているものではないことに十分ご留意ください。

つきましては、今後さらなる教育活動の充実に努めてまいります。ご家庭におかれましても、一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

1. 調査に関する学校の基本的な考え方

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析を行い、教育施策の成果と課題の検証及びその改善を図ること、また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的としています。

またすくすくウオッチは、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章、情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取り組みです。

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

- 子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ることで学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みとする。
- 自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につなげる。

2. 調査結果の取り扱い

今年度は、全国学力・学習状況調査とすくすくウオッチの結果と分析を提供いたします。

- 本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。
- 学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取り組みを進めていきます。

3. 調査結果についてのお願い

- 学習への意欲は、子どもの自尊心と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子様の伸びや課題を知り、まずはお子様の良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張ることで克服できるよう励ましてあげてください。そのこと

がお子様の学習意欲を高めることにつながります。

- 学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願い致します。
- 調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないよう、その取り扱いについては、十分にご留意いただきますようお願い致します。

4. 学力調査・すくすくウオッチの概要

(1) 6年 学力・学習状況調査

国語

概要

「文章の中で漢字を正しく使う」問題は正答率が高かった。また、無回答率が府・全国より低く、あきらめず粘り強く取り組む姿勢が見られた。

「読むこと」の問題は比較的よくできていたが、「思考・判断・表現」の問題の正答率が低く、「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」や「話の中心を捉える」問題に課題が見られた。

特に成果が見られた問題例

①三「送り仮名に注意して漢字を文章の中で正しく使う」問題は、3問のうち2問の正答率が府・全国より高かった。また、②一「目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約する」問題についても、府・全国より正答率が高かった。

特に課題が見られた問題例

①二「図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き方を工夫する」や②二「目的に応じて文章と図などを結び付けるなどして必要な情報を見つける」問題の正答率は、府や全国より大きく下回っていた。

条件に合わせて自分の考えをまとめて伝えることや2つ以上の資料から情報を読み取り、内容に適した必要な情報を見つけたり比較したりすることに課題が見られた。

算数

概要

「変化と関係」領域の短答式の問題は、比較的よくできていた。また、無回答率が低く、最後まであきらめず問題を解こうとする意欲や姿勢が見られた。

「思考・判断・表現」の問題や「複数の情報を比較したり判断したりして言葉や図で記述して解答する」問題は、正答率が府や全国を下回っており、課題が見られた。

特に成果が見られた問題例

①(1)「伴って変わる2つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、数を求める」問題は、正答率が高くよくできていた。また、①(4)「乗法の計算をする」問題の正答率は、府・全国とほぼ等しく、数と計算の基礎的な知識・技能においては、比較的身につけていると考えられる。

特に課題が見られた問題例

①(3)「知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」問題や④(3)「複数を組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉や数を用いて記述する」問題の正答率は、府や全国を下回っており、言葉・図・式を用いて、自分の考えを表現し伝えることに課題が見られた。

また、②(3)「正三角形の意味や性質について理解する」問題や④(1)「百分率で表された割合について理解する」問題についても正答率が低く、定義や定理など基礎基本の定着にも課題が見られた。

(2) 6年 すくすくウオッチ

理科

概要

「地球」の領域は、府の正答率を上回っていたが、「エネルギー」の領域は、府の正答率を下回っていた。3・4年生の既習事項の定着に課題が見られた。

特に成果が見られた問題例

「月の観察」と「雨の降りそうな雲を選ぶ」問題は、正答率が100%とよくできていた。実際に観察した経験が理解につながっていると考ええる。

特に課題が見られた問題例

「直列つなぎと並列つなぎの特徴を問う」問題は、正答率が5.3%と低く、直列つなぎと並列つなぎの違いや特徴について十分理解していないと考えられる。

また、「天気と方角」や「方位磁石のつかい方」の問題についても、正答率が低く、天気の変化と方角の関係や方位の測り方について課題が見られた。

教科横断的な問題わくわく問題

概要

「身の回りのことや経験したことなど興味関心のある事からについて、考えたことを伝える」問題の正答率が高いが、「表やグラフをもとに論理的に考えたり情報を整理して伝えたりする」問題に課題が見られた。

特に成果が見られた問題例

「興味・関心のある事からについて意欲的に工夫して伝える」問題の正答率は、府より5.7ポイント高かった。また、「自身で考えたことを伝える」問題の正答率についても、府より6.4ポイント高かった。

特に課題が見られた問題例

「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える」問題は、正答率は、府より3.3ポイント低かった。また、「文章、図や表から読み取る」問題や「資料の情報を整理して伝える」問題についても、正答率が府より低かった。

(3) 5年 すくすくウオッチ

国語

概要

観点別の正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」とも大阪府より高かった。「言葉の特徴や使い方に関する事項の問題」は、府より正答率が高く、日常的に使う言葉や表現については理解していることがわかった。ことわざや故事成語の理解、同意義の文に変換するなど課題が見られた。

特に成果が見られた問題例

「反対の意味の言葉を答える」や「一文を二文に分けるつなぎ言葉を書く」問題は、正答率が高かった。

特に課題が見られた問題例

「ひらがなで書かれた文を漢字を使って書き直す」問題は、正答率が低く、『早い』と『速い』の使い方の区別ができていないことがわかった。また、「ことわざや故事成語の意味を答える」問題についても正答率が低く、日常生活の中で故事成語やことわざにふれる機会が少なく、理解できていないことがわかった。

算数

概要

「図形」の領域は、府より正答率が高かったが、全体的に正答率が低かった。また、「簡単な計算で求める」問題の正答率が高いが、「グラフを読み取ったり活用したりして解く」問題は、正答率が低かった。題意に合ったグラフを選び、正しく読み取ることや、筋道を立てて考え、説明する力（思考・判断・表現）に課題が見られた。

特に成果が見られた問題例

「場面を理解し、わり算を正しく使う」や「面積の求め方理解する」問題は、正答率が高かった。

特に課題が見られた問題例

「棒グラフと折れ線グラフを読み取る」や「グラフから読み取った数値を場面にあてはめて考える」問題は、正答率が低かった。

「四角形の特徴を説明する」問題では、正三角形の角が 60° 、正方形・長方形の角は 90° が十分理解できておらず、正答率が低かった。

理科

概要

「エネルギー」の領域の正答率は、府より7.2ポイント高かったが、「知識・技能」の問題は正答率が低かった。3・4年生で観察や実験を通して学習してきたこと（道具の使い方や仕組みなど）の定着に課題が見られた。

特に成果が見られた問題例

「空気の性質」の問題は、正答率が約80%と高かった。また、「日光とものの温まり方」の問題の正答率は、準正答を含めると約95%と高かった。

特に課題が見られた問題例

「直列つなぎと並列つなぎの特徴を問う」問題は、正答率が低く、直列つなぎと並列つなぎの違いや特徴について十分理解できていないと考えられる。

「虫めがねの使い方」の問題は、最も正答率が低かった。実際に道具を使用して観察や実験を行う機会をできるだけ多く設定する必要を感じた。

教科横断的な問題わくわく問題

概要

「身の回りのことや経験したことなどに関連する」問題の正答率が高いが、「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容に関連付けて、それをもとに論理的に考えたり、理由や根拠を明確にして伝えたりする」問題に課題が見られた。

特に成果が見られた問題例

「興味関心のある事गरらについて、意欲的に工夫して相手に伝える」問題の正答率は、府より9.8ポイント高かった。

特に課題が見られた問題例

「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容に関連付けて、それをもとに論理的に考える」問題の正答率は、府より2.6ポイント低かった。また、「理由や根拠を明確にして伝える」問題についても、正答率が府より低かった。

5. 児童質問紙から見る学習・生活状況等のようす

(1) 6年 全国学力・学習状況調査の児童質問紙より

1:当てはまる 2:どちらかといえば当てはまる 3:どちらかといえば当てはまらない 4:当てはまらない

○特に成果が見られたアンケート項目

人が困っているときは、進んで助けていますか。
(質問番号8)

	1	2	3	4
加小	50.0	47.4	2.6	0
大阪府	45.4	45.1	7.8	1.6
全国	45.6	46.0	7.2	1.2

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。(質問番号13)

	1	2	3	4
加小	34.2	52.6	13.2	0
大阪府	30.3	43.1	20.0	6.5
全国	32.0	44.5	18.1	5.3

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは、勉強に役立つと思いますか。(質問番号30)

	1	2	3	4
加小	73.7	23.7	2.6	0
大阪府	64.7	29.0	4.0	2.1
全国	67.5	27.6	3.3	1.4

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。(質問番号36)

	1	2	3	4
加小	44.7	47.4	5.3	0
大阪府	36.9	42.1	15.3	4.2
全国	38.6	43.2	13.8	3.4

●特に課題が見られたアンケート項目

学校の授業時間以外に普段1日当たりどれぐらいの時間、読書をしますか。(質問番号20)

	1	2	3	4	5	6
加小	2.6	10.5	23.7	28.9	15.8	18.4
大阪府	7.3	9.4	16.2	20.8	16.5	29.7
全国	7.6	10.9	18.8	22.7	15.4	24.5

1: 2時間以上 2: 1時間以上
3: 30分以上 4: 10分以上
5: 10分以下 6: 全くしない

今住んでいる地域の行事に参加していますか。
(質問番号25)

	1	2	3	4
加小	15.8	21.1	44.7	18.4
大阪府	19.8	31.2	25.6	23.2
全国	24.3	33.5	23.6	18.6

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。(質問番号39)

	1	2	3	4
加小	15.8	44.7	36.8	2.6
大阪府	25.7	42.0	24.3	7.8
全国	31.8	43.0	20.1	5.0

概要

人との関わりを大切に感じている児童が多い。また、自分で考え一生懸命取り組もうとする姿勢が見られた。また、一人一台端末を積極的に活用していることで、ICT機器を使うことのよさを感じている児童が多かった。

一方、読書時間については、10分以上30分以下の回答の割合が高く、府・全国より読書時間が少ないことがわかった。クロームブックの導入により、学校での隙間時間や家庭で読書をする機会が減っていることが考えられる。よい本に出会わせる工夫やしかけ、本を読む時間の提供を意図的・計画的に行うことで改善は期待できると考える。

また、総合的な学習の時間の活動についての肯定的な回答が府や全国を下回っており、課題解決のために情報収集したり、話し合ったりして解決方法を見出す経験が少ないと感じている児童が多い。

(2) 5年 すくすくウオッチの児童アンケートより

○特に強みが見られたアンケート項目

1:あてはまる 2:ややあてはまる 3:どちらともいえない 4:ややあてはまらない 5:あてはまらない

自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している。(質問番号15)

	1	2	3	4	5
加小	25.7	57.1	14.3	2.9	0
大阪府	33.9	37.6	20.5	5.0	2.8

休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる。(質問番号16)

	1	2	3	4	5
加小	62.9	28.6	5.7	2.9	0
大阪府	44.8	33.2	14.1	4.9	2.8

●特に課題が見られたアンケート項目

1:あてはまる 2:どちらかといえばあてはまる 3:どちらかといえばあてはまらない 4:あてはまらない

将来の夢や目標を持っている。(質問番号2)

	1	2	3	4
加小	57.1	22.9	11.4	8.6
大阪府	70.6	17.4	6.7	5.2

その時間に学んだことについて、ふり返りをしている。(質問番号40)

	1	2	3	4
加小	25.7	40.0	25.7	8.6
大阪府	34.2	39.7	18.5	7.4

概要

「自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している」「予期しない出来事が起きたとき、原因がわかるまで調べる」「休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる」など、みんながよりよく生活するためにはどうすればよいかを理解し、行動しようとする意欲や態度が感じられた。

一方、「その時間に学んだことについて、ふり返りをしている」「将来の夢や目標を持っている」など、自己肯定感を持って自分自身を高めたいこうとする気持ちに課題が見られた。

6. 調査結果を受けて

(1) 学校が重点的に取り組んでいくこと

- ・互いの立場や意図、目的を意識したグループやペアでの意見交流や話し合い活動
- ・図や式を使って自分の考えを整理して書く活動
- ・資料を提示し、比較したり資料から分かったことを伝えたりする活動
- ・「～だから〇〇です。」と根拠を元に話したり書いたりする活動
- ・物語文や説明文など、様々な形式の文章にふれ、内容を読み取る活動
- ・自らの課題を持ち、情報を収集して主体的に解決する授業づくり
- ・教科横断的な指導や生活と結びつけた学習の充実
- ・思考力や課題解決力を身につけるための「人」台端末の効果的な活用
- ・朝の読書タイムや図書の時間の充実
- ・基礎・基本の定着をはかることを目的としたKKタイムやモジュール学習、家庭学習の充実
- ・自ら課題を考え、主体的に学習に取り組む「自主勉強の日」の継続
- ・互いの意見や立場を認め合うことのできる集団づくり
- ・自己肯定感、自己有用感を育む人権教育や特別活動の充実
- ・地域のよさを感じることができると連携した取組みの継続

(2) 児童のみなさんに取り組んでほしいこと

- ・早寝早起き朝ごはんなどの正しい生活習慣が身につけている人がたくさんいます。これからも、学習や遊びにしっかり取り組めるよう、健康や安全に気をつけて生活しましょう。
- ・授業や自主勉強では、自分の考え方や授業のふりかえりを書くなど、ノートづくりの工夫をしましょう。また、家で復習する時に読んで分かるよう、ていねいに書くことを心がけましょう。
- ・自分の考えや意見は、理由をつけて丁寧な言葉で伝えることができるようにしましょう。
- ・授業やテストで分からなかったところをそのままにせず、先生に質問したり、ノートや教科書を使って復習したりするなど、やり直しに最後までていねいに取り組みましょう。また、自主勉強は0のつく日だけに限らず、予習・復習など自分で計画を立てて行うようにしましょう。
- ・読書活動に積極的に取り組みましょう。読みたい本をそばに置き、空いた時間に読書をする習慣を身につけましょう。また、友だちにお勧めの本を紹介しあったりして、本のおもしろさを感じましょう。
- ・自分の家の近所で行われることや河内長野市・大阪府のイベントなど、地域や社会に関心をもち、「知りたいな」「やってみたいな」と感じた行事等に積極的に参加しましょう。

(3) 保護者のみなさまに協力していただきたいこと

- ・規則正しい生活ができるよう起床、朝食、登校、夕食、テレビやインターネット等の視聴時間や就寝時刻、お手伝いなど家庭での約束事を設け、しっかりとした生活の柱を確立させてください。
- ・オンラインゲームやタブレット、スマートフォン（動画サイト、SNS等）については、時間管理だけでなく、使用の仕方や危険性についても十分に話し合っ、ルールを設定し、それを守るようにご指導ください。子どもたちのネットリテラシーを高めることは、今後の未来を生きる子どもたちにとって、たいへん重要です。
- ・子どもが話したいことを自分の言葉で伝えることができるよう、お子さまの話を最後まで丁寧に聞いてあ

げてください。話を聞いた後には、「よくわかったよ」「そうだったんだね」「がんばったね」など、思いに共感する声かけをお願いします。

・家庭学習では、予習復習の計画や内容についてのアドバイスをお願いします。また、学習意欲を高めるために、各教科のノートや自主勉強ノートに目を通していただき、がんばっているところはほめて応援し、足りないところは次に向けてはげますなど、お声かけください。

・子どもたちが様々な分野に興味や関心を持ち、新しい発見ができるような機会を作ってあげてください。読書活動もその一つです。お家で一緒に本を読む時間を作ってみるものよいですね。

・地域・社会に関心を持ち、様々な人とのつながりの中で生きていく力を身につけられるように、地域の行事やボランティア活動に家族で参加できる機会を設けてください。